

## Report

# 能登半島派遣報告

### 会場

## 輪島商工会議所

### 応援経営支援員

#### 当所支援グループ

## 三浦 隆史



2026年1月27日から30日までの期間、輪島商工会議所で実施された応援出張に参加し、罹災事業者からの補助金申請に関する相談対応および交付申請手続きのサポートを行いました。1月23日より「小規模事業者持続化補助金(災害支援枠)」第9次公募の申請受付が開始されたこともあり、また、今回をもって「災害支援枠」の申請は原則終了となることから、駆け込みで相談に来られる方が多い印象を受けました。

私が輪島市を訪れた日は、石川県が記録的な豪雪に見舞われた日で、市内の道路や建物の多くが一面雪に覆われていました。相談に訪れた方に復興の状況を伺ったところ、車道の整備は徐々に進んでいる一方で、歩道にはひび割れが残る箇所も多いとのことでした。また、冬の厳しい寒さが、ブルーシートで崩落箇所を覆いながら生活している方や、仮設住宅での生活を余儀なくされている方の負担を一層大きくしているとのことでした。そのような状況で、仮設店舗で居酒屋を営んでいる方が「悪天候の中、復興支援のため県外から来てくださった方に、感謝の気持ちを込めた、おいしいものを食べてもらいたい」と笑顔で話されている姿が強く印象に残っています。

今回の派遣を通じて、補助金に関する支援のみならず、町全体の復旧という観点からも、継続的な支援が必要であると強く感じました。

完全な復興には、時間を要すると思われませんが、「生まれ育ったこの土地で何とか再起したい」という事業者の強い思いが、震災前のような活気ある町の再生につながると信じています。